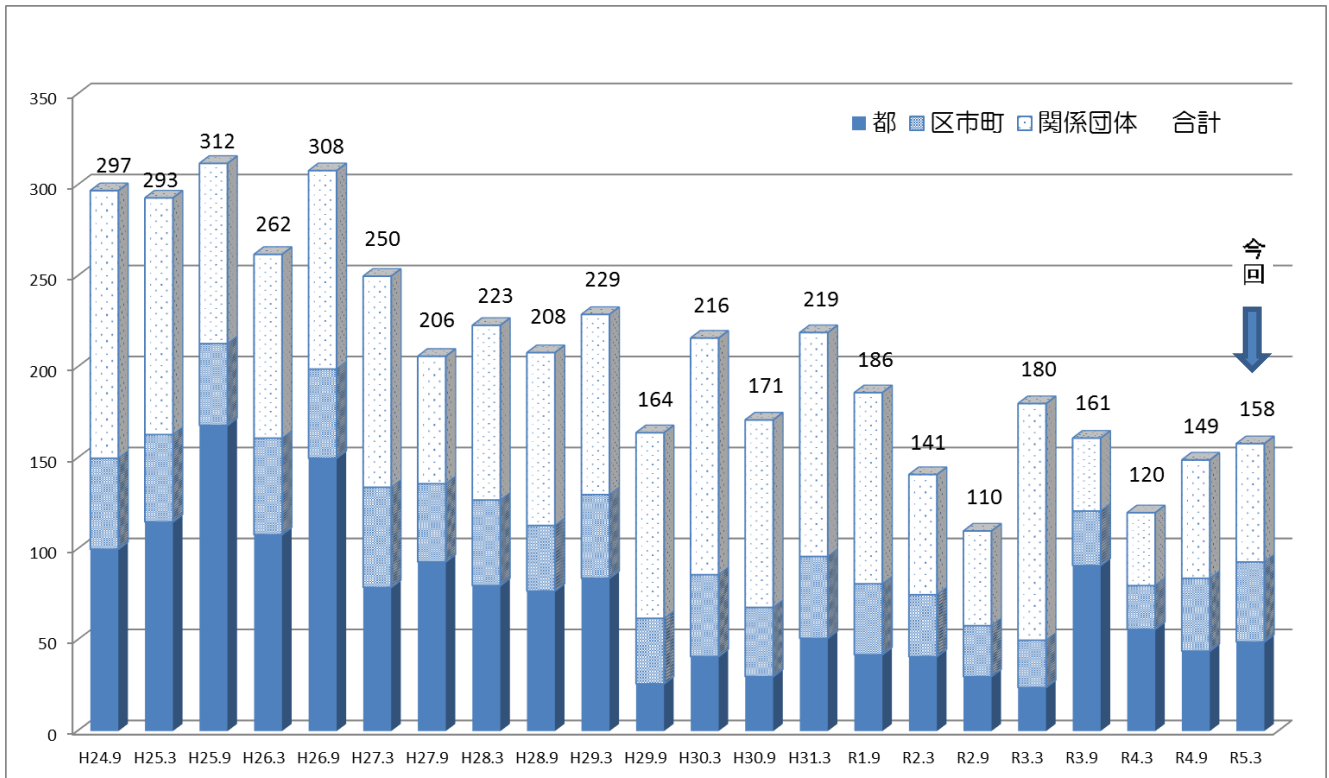


<参考> 特別相談で受け付けた相談の概要

1 東京都内全域で受け付けた件数の推移（都及び23区26市1町、関係団体）



○特別相談「多重債務110番」の実施団体

東京都消費生活総合センター、都内23区26市1町の消費生活センター、東京弁護士会・第一東京弁護士会・第二東京弁護士会、東京司法書士会、日本司法支援センター（法テラス）、（公財）日本クレジットカウンセリング協会、全国クレサラ・生活再建問題被害者連絡協議会、財務省関東財務局東京財務事務所、日本貸金業協会、東京都生活再生相談窓口

※「多重債務110番」は、「自殺防止！東京キャンペーン」特別相談週間（福祉保健局）との連携事業です。

2 東京都消費生活総合センターで受け付けた相談の概要

（1）特別相談の体制

電話又は来所による相談者から消費生活相談員が相談内容を聞き取り、その内容が法律等の専門的対応を要する場合は、本人の希望を確認したうえで、当センターに派遣された弁護士・司法書士・精神保健福祉士、法テラス、東京都生活再生相談窓口等につないだ。

（2）相談内容の分析（都受付分）

① 相談件数 49件（来訪6件、電話43件）

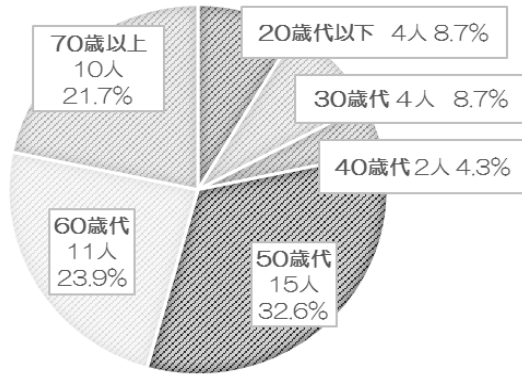
	3月6日(月)	3月7日(火)	合計
来訪	4件	2件	6件
電話	22件	21件	43件
合計	26件	23件	49件

② 相談者の年齢等構成

※端数処理により合計100%にならない場合があります。

【年齢別】

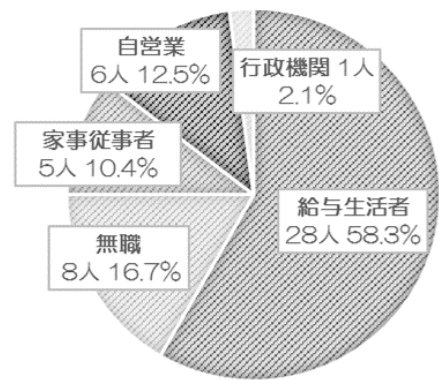
※不明3人を除く



- ・相談者の平均年齢は58歳（最年長81歳、最年少23歳）
- ・50歳代以上が8割近くを占める。

【職業別】

※不明1人を除く

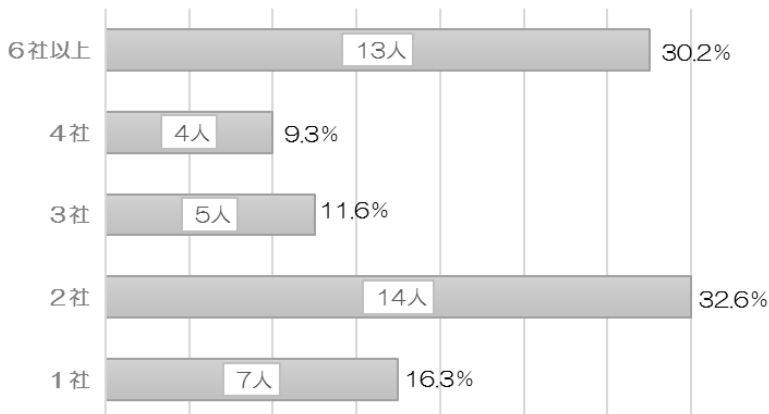


- ・相談者の職業は、給与生活者が半数以上（パート・アルバイト・派遣社員含む。）

③ 借入先の状況

【借入先別】

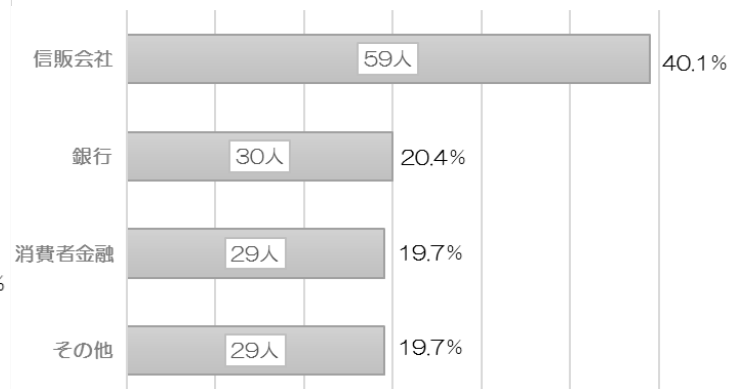
※不明6人を除く



- ・借入先数が判明している人では平均3.4社
- ・最多借入れ先数8社

【金融機関別】

※借入先延べ147社

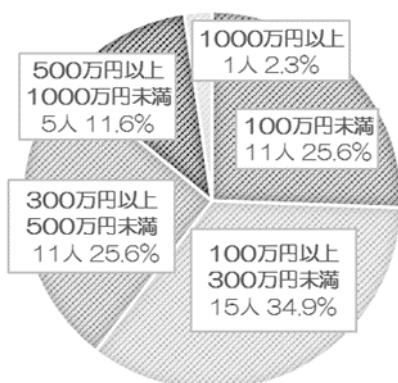


- ・借入先は、信販会社が最多
- ・その他は、ヤミ金・個人間・奨学金・契約金未払い等

④ 債務の状況

【一人当たり債務額】

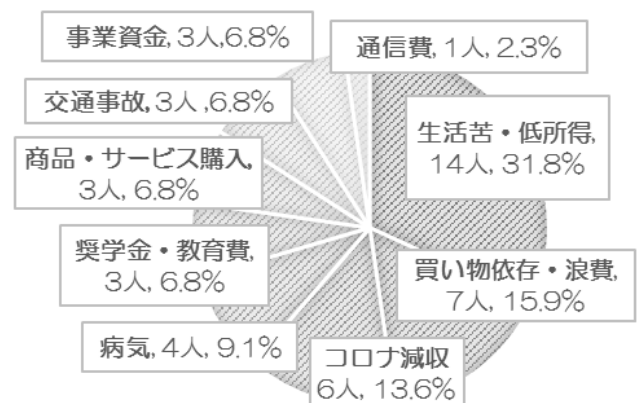
※不明6人を除く



- ・1人当たり平均債務額は約293万円
- ・500万円以上の債務者は約13.9%を占める。（最高債務額は1,160万円。20年程前からギャンブルや交際費のために借入れを繰り返していた事例。）

⑤ 主な借入れ理由

※不明5人を除く



- ・数年前からの借金を返せなくなったという相談が多い。
- ・過去に債務整理をしたが返済が苦しいといった相談も。
- ・コロナ禍で減収になったことが直接的な借入れ理由であるとするものが6件と目立った。